

認知症のお年寄りが行方不明になった時間、無料で受け付けており、地域レベルでどうしたシステムをつくった例は珍しい。「捜し方や声のかけ方を実践で学ぼう」と3月2日には初の捜索模擬訓練【銭場裕司】

## 守恒校区まちづくり協 小倉南

守恒校区は人口約1万9000人(約4200世帯)で65歳以上が占める高齢化率は約17%。政令市で全国トップの北九州市平均(約25%)は下回るが、校区内には約40%に達した地域もあるという。

これまでにお年寄り2人と子供1人の計3人について捜索依頼があり、名前・年齢・住所・服装などの特徴を配信した。3人を発見したのはメール受信者ではなかったが、行方不明を知った地域住民が捜索に協力することができたという。

### 子供や障害者も

まちづくり協議会は地域の事情に加え、市内で認知症のお年寄りが行方不明になったり、死亡して見つかりたりする問題が増えていることから昨年9月、SOSネットを設立した。子供や障害者の行方不明にも対応する。

### 早い連絡

### 呼びかけ

まちづくり協議会会長でSOSネットの会長を務める笹月二男さん(75)は「家族だけで探すのは負担が重すぎ、メール配信は地域の人たちの安心につながる。認知症は隠す時代ではなく正しく理解

## 行方不明の認知症お年寄り >>> 地域で捜索



配信依頼の電話番号を周知するステッカーを手にするSOSネット会長の笹月二男

# メールでつなぐ「SOSネット」設立

することが大切で、今回の取り組みで認知症に対する理解も進むのでは」と語る。別の関係者は「メールを受信した一人一人が家の周りを見てもらうだけでも大きな力になる」と期待している。

お年寄りは短時間で遠くに行く例も多く、守恒校区でも1人は10人以上離れた別の自治体で保護された。SOSネットは「命に関わる問題なので遠慮せず早く連絡して」と呼びかけており、配信依頼の受け付け専用電話番号(080・5804・5871)を開設。番号を周知するステッカーも作った。

来月2日

### 模擬訓練

模擬訓練は3月2日午前9時半～昼ごろ。守恒市民センター集合で、関心がある人は誰でも無料で参加可(昼食付き)。申し込みは2月28日までに同センター(093・963・1446)へ。25日午後7時半からは同センターで模擬訓練の勉強会(無料、予約不要)もある。